

# 折高AL通信

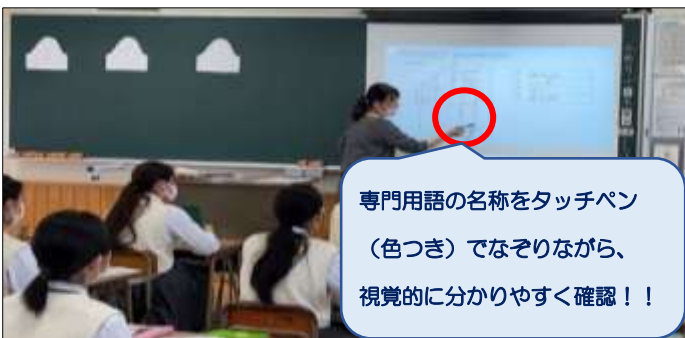
福岡県立折尾高等学校  
「新たな学び」推進委員会発行  
令和3年6月18日 Vol.16

「折高AL通信」第16号は・・・

先日、10日（木）2時間目と4時間目にそれぞれ井上教諭と三小田教諭による研究授業「ファッション造形（基礎）」が行われました。その中での授業の様子を御紹介いたします。

今回の授業では、本時の目標を「袖原型からパターン展開の方法を理解し、パターンの作成ができる。」として授業が行われました。目標達成に向けて、ICT機器を効果的に活用した様々な工夫や手立てが成されていました。まずは、前時の振り返りです。

## 活用シーン①[大型提示装置 + タッチペン]



専門用語の名称をタッチペン（色つき）でなぞりながら、視覚的に分かりやすく確認！！

## 活用シーン②[大型提示装置 → 本時の目標の提示]

指示が的確で生徒が迷子にならない！！



本時の目標  
本時の流れ

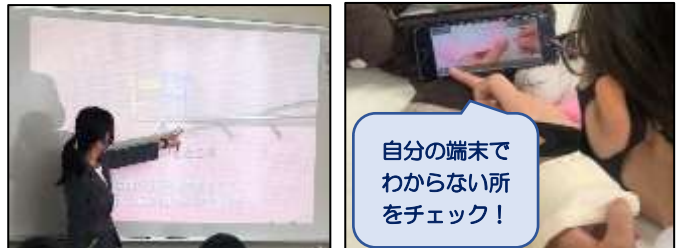
大型提示装置には、本時の目標 → 本時の流れが提示され、生徒たちは見通しをもち安心して授業を受けることができていました。また、袖の原型構造がイメージできるように、平面の型紙を黒板に提示し、併せて実際の袖見本を見せることで、生徒たちは思考をめぐらせながら、意欲的に取り組んでいました。

### ★井上教諭の一言★

今回、書画カメラにチャレンジしました。画面に身数字や図を書いたり、静止画ができたり、タイマーの機能など学習種別に有効ツールがたくさんあることを学びました。今後は実習室にも設置して使用したいと思います。ICT機器を使用する際は授業がスムーズに進行するように機器の設置場所と教師の立ち位置、操作の取り、教材を置くスペースの確保なども事前に確認する必要性を実感しました。

三小田教諭の授業では、本時の目標を「まつり縫いの技術を身につける。」として授業が行われました。生徒個々のスマートフォンで動画を自由に再生・停止するなど、技術の定着を図る授業でした。

## 活用シーン[office365 + iPad]



自分の端末でわからない所をチェック！

はじめに動画を使い、全体にまつり縫いの方法を説明しました。時折、静止画を用いながら、ポイントをわかりやすく丁寧に説明していました。その後、生徒が実際に自分の端末で自分のペースで動画を再生しながら、実践していました。わからないところを繰り返し見ることができるので、間違った縫い方をすることがなく、正確な縫い方の定着につながる授業でした。

また、まつり縫いの制服にも用いられていることを説明し、生活に生かしてほしいと伝えていました。



制服の裾に使われていますよね！

### ★三小田教諭の一言★

今回、授業で使用するために6つの動画を作成しました。ポイントや間違えやすい所を、生徒が家で見てわかるよう、静止画と動画を織り交ぜた動画にしました。それを見ることで生徒がわからないところをそのまませず、正しい縫い方を身につけることが出来たと思います。早速「家で練習した！」との声もあったので、今後も活用していきたいです。

### ★「新たな学び」推進委員会の追記★

1時間の授業を授業アーカイブとして残したり、動画教材を反転学習や欠席者のフォローとして生かしたりすることは、「個別最適化」された学習の第一歩です。三小田教諭の授業では、office365を効果的に生かした「個別最適化」された学習のヒントがありました。井上先生、三小田先生、本当におつかれさまでした。